




台風・豪雨・土砂災害

洪水や土砂災害といった風水害は、大雨や長雨により起こります。

大雨や台風によって、洪水や土砂災害などが引き起こされることがあります。危険性、現象などを知っておきましょう。

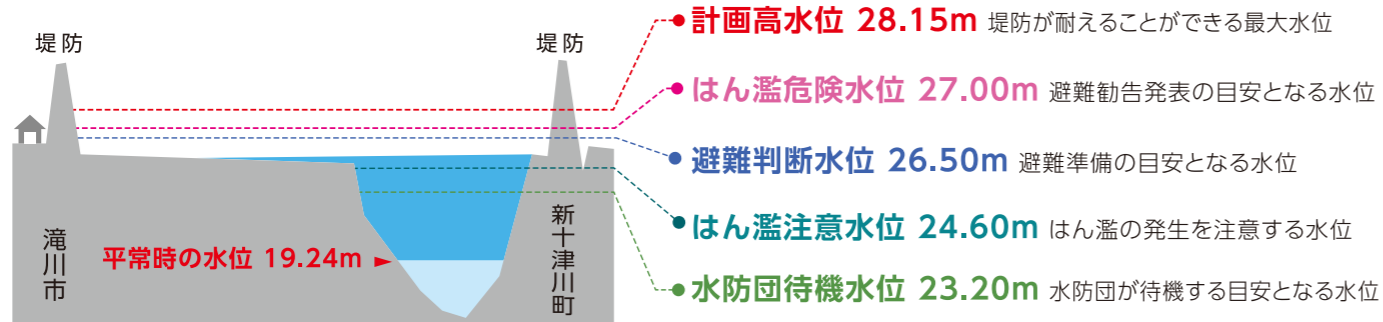
知る 警報・注意報の内容

注意報	警報	特別警報
<p>災害の恐れがあります。最新情報に注意し、災害に備えて早めに準備を。</p> 	<p>重大な災害のおそれがあります。役場からの避難情報に注意し、必要に応じ避難を。</p> 	<p>重大な災害の起こる可能性が著しく高まっています。避難情報に従うなど、適切な命を守る行動を!</p> 
▶▶▶ 危険度大		

知る 風水害の危険(気象用語)

◆大雨	<p>やや強い雨 1時間に10~20mm ザーザーと降る。</p>	<p>強い雨 1時間に20~30mm どしゃ降り。</p>	<p>激しい雨 1時間に30~50mm バケツをひっくり返したように降る。</p>	<p>非常に激しい雨 1時間に50~80mm 滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。</p>	<p>猛烈な雨 1時間に80mm以上 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。</p>
	<p>◆大風</p>	<p>やや強い風 10~15 m/秒 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。</p>	<p>強い風 15~20 m/秒 転倒する人も出る。看板やトタン板が外れ始める。高所での作業は極めて危険。</p>	<p>非常に強い風 20~25 m/秒 つかまっていないと立ってられない。飛来物で負傷するおそれがある。</p>	<p>非常に強い風 25~30 m/秒 屋外での行動は極めて危険。</p>
▶▶▶ 危険度大					

◆石狩川の危険水位(橋本観測所)



※石狩川(橋本地点の断面図)

備える 雨・風の対策

点検・補強

屋根、塀などの点検・補強をする。



室内に収納

風でとばされそうなものは室内や物置へ。



ガラスの飛散防止

窓が割れないようにフィルムを貼る。



行動する 避難する

避難前の注意点

- 気象情報や町からの最新情報を入手する。
- 非常持出品を点検し、避難所を確認する。
- 安全に避難所まで避難できるルートを確認する。



備える 周囲の変化に注意

天候の変化

真っ黒い雲の接近、雷の音や光、冷風などがサイン。



土砂災害の前兆

- **土石流の前兆**
山鳴りがする。川が濁り、流木が混ざる。川の水位が下がる。
- **がけ崩れの前兆**
がけ面から小石が落ち、裂け目ができる。がけから水がわき出る。
- **地すべりの前兆**
地面にひび割れや陥没ができる。樹木が傾く。



避難するときの注意点

- 避難前にはガスの元栓を締め、ブレーカーを落とす。
- 気象情報などが発表されていなくても、危険を感じたら早めに避難する。
- 避難は複数人で、基本は徒歩で行う。
- 浸水の状況によっては、頑丈な建物の2階以上へ避難する。
- 浸水している場所は、棒で確認しながら側溝や水路に注意する。
- 子どもはロープなどでつなぎ、はぐれないようにする。
- 長靴での避難は避け、履き慣れた靴で行動する。



避難する際は「水平避難」「垂直避難」をこころがけましょう。

水平避難

避難所や安全な場所へ避難すること



垂直避難

避難が危険なときや遅れたときに高いところへ避難すること

